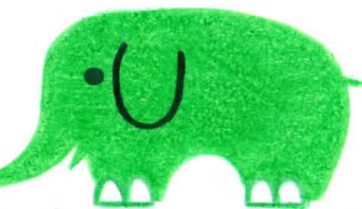


ぱおぱお ニュース



< 病 気 の 豆 知 識 >

今月は… 『 子どもの虫歯 』 です

6月4日は虫歯予防デーです！

今回は歯医者さんにお話を伺いました♪



『 母子感染とお口の環境 』

相互歯科 歯科医師 松本直人

生まれたばかりの赤ちゃんのお口には虫歯菌はいません。ではなぜ虫歯になってしまうのでしょうか？ それは、虫歯菌が身近な大人からうつってしまうからです。これを母子感染といいます。コップやおはしを共有したり、大人が噛んだものを与えたり、キスを口にしていませんか？

母子感染を避けるには、食器を共有しないよう注意し、大人も歯科治療を受けておくことが大切です。また乳歯は永久歯よりやわらかく、虫歯が進行しやすいです。

ダラダラ食べや甘いものなどに注意し虫歯菌が好むお口の環境にならないようにしましょう。



『 仕上げ磨き 』

歯が生えてきたら、はじめは夜寝る前に濡らしたガーゼでふいてあげましょう。歯ブラシを触らせたり噛ませたりすることで歯ブラシへの抵抗を減らせます。虫歯になりやすい奥歯の噛み合わせ部分や上の前歯をとくに仕上げ磨きしてあげましょう。ただし力が強かったり、歯ぐきに歯ブラシが当たったりすると嫌がるため注意しましょう。話しかけたり数を数えたりしながら磨いてあげると良いですね。

『 虫歯予防にはフッ素塗布 』

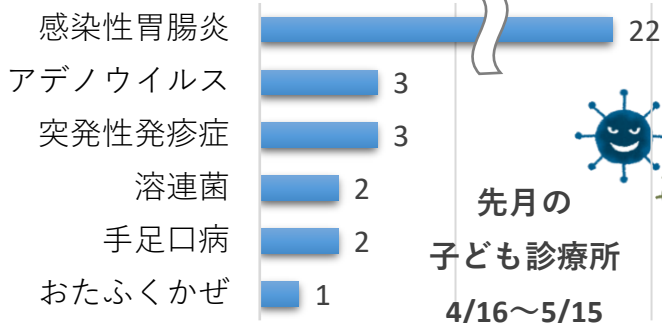
虫歯は、歯の表面が溶け始めることで次第に進行していきます。しかし、すぐに虫歯となる訳ではありません。初期段階であれば歯の「再石灰化」がおこなわれます。この「再石灰化」の力を強めてくれるのがフッ素です。始める時期は、上下の歯がそれぞれ4本ずつ生え揃ってきた頃です。概ね1歳半程度で生え揃ってきますので、フッ素塗布を考えてあげると良いですね。

相互歯科では、妊娠期から出産後のお母さん、赤ちゃんのお口の中の健康管理をお手伝いしています。特に小児歯科外来では、小児専門のスタッフが対応し、歯医者さんが苦手だったお子さんもしっかり治療できるようにサポートしていきます。どんな些細なことでも相談してください。



健生会 相互歯科 電話:042-525-6480

< 感 染 症 情 報 >



子ども診療所では…

・先月に続き胃腸炎のお子さんが目立ちますが、発熱、鼻水、咳の風邪症状のお子さんもいます。

病児保育室ぱおぱおでは…

・発熱、鼻水、咳の症状や胃腸炎のお子さんがいらしています。

< 絵本の豆知識 >

コロナ禍でうち時間が増えたのをきっかけに、絵本を読む時間が増えた方も多いのではないのでしょうか。そこで今回は、絵本を少しご紹介したいと思います。

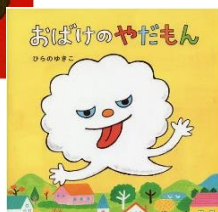
絵本選びに悩む声をよく聞きますが、難しく考えず色々読んでみていいと思います。お父さんお母さんが懐かしくて手に取るような名作絵本を我が子に与えるもよし、面白くてこれから引き継がれるだろう新しい絵本もたくさんあるでしょう。ネットでみると独自調査の様々な絵本ランキングがありますので参考にしてみるのもいいですね。

育児に悩んだ時にも、絵本がいい手助けをしてくれることもありますよ～♪



★イヤイヤ期

『おばけのやだもん(ひらのゆきこ)』
『いやだいやだ(せなけいこ)』



★トイレトレーニング

『ノタン おしっこしーしー(キヨノサチコ)』
『ぷくちゃんのすてきなぱんつ(ひろかわさえこ)』

★ヨシタケシンスケさんのシリーズ

大人も思わずクスッと笑ってしまったたり、「あるある！わかる～！」と言いたくなる絵本です(笑)イライラぐずぐずも、子どもの見方が変わり接し方も変わるかもしれませんね。心の栄養です♪



★歯磨き

『はみがきあそび(きむらゆういち)』
『むしばいっかのおしっこし(にしもとやすこ)』



他にも『着替え』『きょうだい喧嘩』なども色々あります。我が子に合う絵本を探してみると面白いですよ♪

赤ちゃんはもちろん大きくなっても、大好きなお父さんお母さんの心のこもったあたたかい声は、大きな『安心感』に包まれることでしょ。読んでもらう言葉を“耳から聞き”、“絵を読む”ことで“ことば”をもとにイメージを描いて、その世界を楽しむという経験をたくさんさせてあげたいですね。

保育室のご利用には 事前の登録が必要です！



保護者の病気や出産、冠婚葬祭などでも、何かお困りの際はご相談ください。

お問い合わせ 病児保育室ぱおぱお(月～金 8:30～17:30)

TEL 042-521-2777

* 育児相談も可